

系統用蓄電池制度変更後の 収益再設計と需給運用の実務

～9月・10月の市場変更、48コマ配分、需給管理から読み解く投資回収戦略～

一講師一

株式会社 AnPrenergy 代表取締役

一般社団法人日本再生可能エネルギー地域資源開発機構 理事 村谷 敬 氏

日 時 2026年10月16日（金） 午前10時～12時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信（2週間、何度でもご視聴可）
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

【セミナー参加対象者】

- ・系統用蓄電池を既に運転中、または着工済みの事業者（事業責任者・財務担当・運用担当）
 - ・蓄電池の運用を受託しているアグリゲーター・EMS 事業者
 - ・蓄電池案件に融資・出資しているレンダー、投資家、SPC の資産管理担当
 - ・蓄電池を保有または調達する新電力の需給管理担当
 - ・2次投資・追加投資の可否を判断する経営企画担当
- ※想定する参加者の悩み：「シミュレーションどおりに収益が出ていない」「10月以降どこまで落ちるのか分からない」「レンダーに何を説明すればいいか」「委託先の運用が正しいか判断できない」

【重点講義内容】

2026年9月1日、一次調整力・二次調整力①・複合商品の上限価格が15円から10円へ引き下げられます。そして、10月1日には北海道・東北・東京の3エリアで一次調整力の募集量が約3割減少します。こうなると上限価格が7.21円まで引き下げられるのは時間の問題とも言えます。「一次調整力一本足」で投資判断した事業者のシミュレーションは、ここで確実に狂うことは間違いありません。

本講演では、制度変更前後の想定収益差を数字で示したうえで、2026年度以降の、48コマ配分表を提示します。新規参入向けの「稼ぐ話」ではなく、既に投資した設備で投資回収を成立させる「守りの運用設計」を、そして、守りから攻めに転じることができる方策について、長年の系統用蓄電池ビジネスに関わってきた実務目線から解説します。

1. 現場の3つの問いから始める

- (1)「シミュレーションは狂うのか」「いくら変わるのか」「止められるのか」
- (2)「なぜこんな制度にしたのか」への回答：需給調整市場は投資回収を保証する市場ではなく、送配電の調達コスト（＝託送料金）を最小化する調達市場。募集量は行政変数、価格だけが市場変数。2024年度の高値は応札不足のレントであり、不足が解消すれば消える設計だった
- (3)投資側と制度側の前提のズレ：実態調査で「蓄電池は需給調整市場のみで活用」が筆頭に挙げた事実

2. 9月1日、10月1日、その次 ー3段で来る制度変化

- (1)9月1日上限10円：根拠は上限付近の高値約定が量3.4%・費用16.8%を占め、その札の多くが蓄電池だったこと。「蓄電池は価格を下げても市場に残る」という制度側の認識
- (2)10月1日一次必要量の見直し：東3社で約1,030MW→約710MW。中西エリアは今回対象外
- (3)供給側も増える：既設の調定率緩和、既設蓄電池の一次オフライン枠参入（経過措置）
- (4)周辺：複合市場の募集量1σ化、補正インバランスC300円／D50円、EPRX手数料倍増、PCS周波数計測要件、次の7.21円

3. 数字で見る「狂い方」

- (1)モデル機：1,990kW／8,000kWh、40コマ応札、350日運用
- (2)旧シミュレーション（一次6円×約定80%＝年1.34億円）と、上限10円・募集量減後の感応度表（3円×50%で4,180万円まで）
- (3)エリア別3列：東京／東北・北海道／中西で何が違うか（一次需要減、三次②募集量削減係数、揚水随意契約、JEPX スプレッド、出力制御）
- (4)2025年度の電源種別実績：蓄電池の一次8.8～13.5円、三次②7～9月40～58円、VPP/DR70～94円が示すこと

4. 食い止める道筋 ー3市場＋ネガボジ型の配分

- (1)供出可能量の式を1枚で：発電上限－発電計画＋需要計画。充電計画を出すだけで売り物が3,980kWに倍増する理由と、揚水動力等の出力抑制としての精算（V1×需要計画－需要実績）
- (2)1日48コマの基本形：深夜充電9コマ（停止余力を複合へ）、日中待機23コマ（一次20コマ上限＋複合）、夕方放電9コマ（JEPX）、夜待機7コマ
- (3)三次②の尾の取り方：9割が2円以下、0.3%が費用の2割という分布。募集量11:30公開→14:00応札→15:00約定→17:00時間前という順序が生む「不落コストゼロ」。切替条件と連続4コマ上限
- (4)JEPX 裁定を毎日1サイクル固定して床にする。季節・休日・エリアの切替（冬1.5サイクル、九州の昼充電、余力活用の下げ余力）
- (5)容量市場と余力活用契約の正しい位置づけ
- (6)着地の数字：分散＋ネガボジ型で8,400万～1.1億円、容量市場込みで旧シミュレーション水準に近づく道筋。回収年数の再計算

5. 守りの運用と制度リスク

- (1)ペナルティは約定単価に比例。月3回で新規取引停止、解除は自費の実働試験。2回目で止める運用ルール
- (2)SOCとインバランス：朝の充電停止指令→ゲートクローズ前に夕方の発電計画を修正→時間前で買い戻す、という需給管理の基本動作
- (3)V1・V2の設計（充電価格＋機会費用、根拠資料）、毎週火曜14時の登録
- (4)需給調整市場ガイドラインの固定費回収額：他市場収益を控除した額が上限。マルチユースで稼ぐほど高値応札の根拠が薄くなる
- (5)委託先に求めるKPI（商品別落札率・不適合回数・SOC計画精度・円/kWh年）と、レンダー向け前提の差し替え（10円基本・7.21円ストレス）

6. まとめ ー10/1までに変える2つ、年内に整える3つ

- (1)追加投資ゼロで明日からできる：需要計画の出し方を変えてネガボジ型で応札する／三次②を条件付きで応札する
- (2)年内に整える：委託契約のKPI化、V1根拠資料、レンダー説明資料
- (3)中期の選択肢：二次①への専用線投資、容量市場応札、中西エリアへの配分見直し

7. 質疑応答／名刺交換

※セミナー参加特典として「運用チェックリスト」を進呈

P R O F I L E 村谷 敬(むらたに たかし)氏

電力ビジネスが黎明期だった 2009 年から新電力支援サービスを手がけるエナリスやエブコで電源調達や需給管理を担当し、電力全面自由化を迎えた 2016 年に独立。電力市場の価格形成に関する専門的な見地から、電力ビジネス全般のコンサルティングを手がけ新電力 100 社以上を支援。現在では、大手電機メーカー、金融機関、自治体などを対象とした、エネルギーコストの削減や脱炭素化、再生可能エネルギーの導入などもサポートする。主な著書に「エネルギーの未来 2020-2029」(日経 BP)がある。系統用蓄電池ビジネスは 2021 年度より現在まで、国内で 50 社以上の開発支援、20 社以上のアグリゲーター業務内製化、5 社の補助事業採択の実績がある。

●受講料	各受講方法 1名につき 34,210円(税込) 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込) ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送り致します。 お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参下さい) ※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日まで銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。

可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。

■ライブ配信について

<1>Zoom にてライブ配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加下さい。

■アーカイブ配信について

<1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができれば、視聴用 URL をお送り致します。

<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間に視聴頂けます。

10月16日(金)		「系統蓄電池制度変更後の収益再設計」		申込日	月	日
貴社名						
所在地	〒 ○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)					
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)						
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信		
フリカ'ナ氏名			所属部署・役職			
TEL	()	—	FAX	()	—	
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。					
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)						
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信		
フリカ'ナ氏名			所属部署・役職			
TEL	()	—	FAX	()	—	
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。					

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mail アドレス登録受付 & ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]

□セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。

※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。

※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。

※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850 / E-mail: info@ssk21.co.jp / URL: https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26441-E

